

# 東京平和映画祭



## Tokyo Peace Film Festival 3

### 上映作品

#### 『Little Birds (リトルバズ)』

～イラク 戦火の家族たち～  
(綿井健陽 監督作品 2005年/102分)  
<http://www.littlebirds.net>



#### 『ジャマイカ楽園の真実』

～誰かのために誰かがつぶされている～  
(ステファニー・ブラック 監督作品 2001年/86分)  
<http://www.uplink.co.jp/jamaica>



#### 『魔法のランプのジニー』

～ジニーは 広島・長崎で何をしたのか?～  
(ステファン・ソーター、トレース・ゲイナー 監督作品 2006年/16分)



#### 『六ヶ所村ラブソディー』

～核燃の大地に咲く花～ここに私たちのくらしがある  
(鎌仲ひとみ 監督作品 2006年/119分)  
<http://rokkasho.ameblo.jp>



#### 『平和の創り方』

～ここでしか観られない「東京ピースフィルム倶楽部」の自信作!～  
(きくちゆみ、今村和宏、田中優 2006年/90分)

#### 『映画 日本国憲法』

～『チョムスキー 9・11』『老人と海』の監督が贈る世界からの声～  
(ジャン・ユンカーマン 監督作品 2005年/78分)  
<http://www.cine.co.jp/kenpo>



『スクリーンから平和を願う真実の声が聞こえる・・・』  
知ること...それは未来を変える力! 「衝撃」のドキュメンタリー映画6本、一挙公開!

**2006**  
2006年7月22日(土)  
**7.22**

参加費 ● ※ 25才以下... (会員=1,500円、一般=2,500円) ※ 26才以上... (会員=2,500円、一般=3,500円)  
★ 一般チケットは、チケットぴあ各店 及び <http://t.pia.co.jp> 【Pコード: 552-173】で絶賛販売中!  
☆ **只今会員募集中!!** 会員登録無料! ...詳しくは裏面をご覧ください。チケットと一緒に申し込めます。

2006年7月22日(土) 開場/9:30 開催時間/10:00～21:00  
国立オリンピック記念青少年総合センター カルチャー棟 大ホール <渋谷区代々木神園町3-1>

主催 ● 東京ピースフィルム倶楽部 <http://www.peacefilm.net>  
<問い合わせ先> 事務局: 担当/浅野 mail: [info@peacefilm.net](mailto:info@peacefilm.net)  
TEL: 090-4459-3020 / FAX: 0479-62-1327

『監督とランチ』は  
いかがですか?

<お問い合わせ先>  
[lunch@peacefilm.net](mailto:lunch@peacefilm.net)  
FAX 03-3393-2207

911事件から始まった「テロとの戦い」は今日も続き、自衛隊はイラクに行ったままです。毎日米兵3人、イラク人50人が帰らぬ人。イラクで息子を殺され、「この戦争の崇高な使命とは何？」と問い続ける米兵の母親のように、「どうすれば戦争ではない方法を選びとれるか」と問い続けるために、この映画祭を企画しました。

東京平和映画祭プロデューサー きくちゆみ

タイムテーブルは、変更の可能性がります。

9:30  
10:00  
10:05  
11:00  
11:49  
12:00  
12:04  
13:00  
13:32  
14:00  
14:04  
15:00  
15:18  
15:33  
16:00  
17:00  
17:35  
17:50  
18:00  
19:00  
19:22  
19:37  
20:00  
20:57  
21:00

『Little Birds (リトルバース)』 (2005年/102分) 綿井健陽監督作品

～イラク戦火の家族たち～ <http://www.littlebirds.net/>

戦火のイラク市民に何が起きたのか。そして、今も続く戦火の中で、イラクの人々はどう生きているのか。取材は2003年3月に始まる。空爆前の豊かなバグダッドの日常、子供たちは、朗らかな笑顔をたたえていた。米軍の非人道的兵器「クラスター爆弾」で右目を負傷した12歳の少女・ハディールや右手を失った15歳の少年・アフマド。戦火に傷ついた様々な家族を描きながら、戦争の「意味」を、日本と世界に問いかける。



『ジャマイカ楽園の真実』 (2001年/86分) ステファニー・ブラック監督作品

～誰かの欲のために、誰かがつぶされている～ <http://www.uplink.co.jp/jamaica/>

アメリカ主導で突き進むグローバル経済が何をもちたらすか？カリブ海に浮かぶ美しい島、ジャマイカに起きた現実を検証して、人の生活に必要な豊かさとは何かを考えさせられる映画。ボブ・マリヤなどが歌う、ジャマイカのレゲエに乗って案内する。(監督より：残念なことにジャマイカは、2005年の現在もこの映画を製作した2001年と何も変わってなかった。)



ランチタイム (88分) 13:32～15:00

特別企画：監督とランチ♪

監督と一緒にランチを食べませんか？一緒にランチをしたい監督名を書いて、メールかFAXでお申し込み下さい。参加費は食事代込みで1,500円です。各監督先着10名様まで！  
(\*今回の参加監督：ステファニー・ブラック監督、鎌仲ひとみ監督、ジャン・ユンカーマン監督、田中優さん、他 只今交渉中です。)

お申し込み先: [lunch@peacefilm.net](mailto:lunch@peacefilm.net) FAX 03-3393-2207



『魔法のランプのジニー』 (2006年/16分) ステファン・ソター、トレース・ゲイナー監督作品

～ジニーは広島・長崎で何をしたのか？～

アメリカの12歳の少年2人が描いた広島・長崎原爆に関する短編ドキュメント。国連や全米各地で上映され、絶賛される。国際子ども映画祭(ロサンゼルス)出展作品。ついに日本上陸、初公開！

『六ヶ所村ラブソティー』 (2006年/119分) 鎌仲ひとみ監督作品

～核燃の大地に咲く花～ここに私たちのくらしがある。 <http://www.rokkasho.ameblo.jp/>

『ヒバクシャ』で一躍注目された鎌仲ひとみ監督の最新作。青い空と緑の大地に囲まれた青森県六ヶ所村に、原発の使用済み核燃料からプルトニウムを取り出す再処理工場が建てられた。予定通り2007年本稼働となれば、たった1日で原発1基の約1年分の放射能が放出される。六ヶ所村に生きるということは、核と共に日々生きること。巨大な原子力産業と向き合う人々の様々な生き方とくらしを見つめながら、電気を使う私たち自身の未来の選択をも問いかけていく。



『平和の創り方』 (2006年/90分) <きくちゆみ、今村和宏、田中優>

～ここでしか観られない「東京ピースフィルム倶楽部」の自信作！～

『戦争中毒』『テロリストは誰？』『911 ボーイングを捜せ』などの映像を使って、報道では伝えられない戦争の根本原因や「誰がどのように戦争を引き起こしているのか」に迫る。『戦争のつくりかた』の朗読を聴き、今日本がどこに向かっているのかの舞台パフォーマンスを見たら、あなたも動かずにはいられない。



『映画 日本国憲法』 (2005年/78分) ジャン・ユンカーマン監督作品

～『チョムスキー9・11』『老人と海』の監督が贈る世界からの声～

<世界から見たわたしたちの憲法>戦後60年目を迎えた2005年、自衛隊のイラク派兵をきっかけに憲法についての踏み込んだ議論がはじまった。国内のあまりに性急な改憲への動きを、世界に視野を広げて見つめ直す、それがこの映画の出発点だった。憲法とは誰のためのものか、戦争の放棄を誓った前文や第9条をどう考えるのか。本作品では、憲法制定の経緯や平和憲法の意義について、世界的な知の巨人たちが語る。 <http://www.cine.co.jp/kenpo/>



★『東京ピースフィルム倶楽部』に入会と同時にチケットをお求めの方へ・・・ <締め切り：2006年7月12日(水)>

★<郵便振替>の「通信欄」に「入会希望」と明記の上、●生年 ●年齢 ●mail か FAX を記入してください。

(「通信欄」への記入例 → 1981年生、25才、mail: [abcd@efghijklm.net](mailto:abcd@efghijklm.net) または FAX: 0123-45-6789)

●郵便振替 口座番号【00130-2-371802】 ●加入者名【TPFF実行委員会】 ●「ご依頼人」欄も全て明記してください。

◎チケット代として… 25才以下の方は1,500円、26才以上の方は2,500円をご入金ください。振込手数料はご負担願います。

◎基本的に1郵便振替口座にチケット1枚の申し込みとなりますが、複数枚を申し込みの場合は事務局までお問い合わせください。

◎入金が確認され次第、会員証とチケットを郵送いたします。尚、通信欄へのご記入がない場合は一般価格となります。

映画祭は再入場自由です。

再入場時にチケットの半券をご提示いただきます。

(このチラシには、再生紙を使用しています。)